

国語科	「命とふれあう（森へ）」	
6 学年	実施の時期 実践者	平成15年4月 鳴瀬町立小野小学校 高橋 史子

○ 実践の概要

【単元の流れ】

① 導入

自然との出会いの体験、自然について思うことなどを話し合う。

② 展開

「森へ」の文章を音読する。

自然との触れ合いについて話し合う。

③ 終末

作者「星野道夫」のことを調べる。

想像を広げ、「森の物語」を書く。

【実践方法】

※ 単元の終末部分で、作者の「星野道夫」さんのことを紹介するときに、教師から、提示した。星野道夫さんのことを調べるときに、その人となり詳しく知ることができた。あためて、文章への関心を持たせることができた。

※ 新聞記事を読むだけでなく、教室に掲示しておいた。

【実践を振り返って】

※ 教室に新聞記事に掲示しておいたので、学習後に自分なりにもう一度読みなおしたりする姿が見られた。

※ この活動のほかにも、学習に関連する記事を自分たちでも学習にかかわりのある新聞記事を探そうとする態度が見られるようになってきた。

※ さらに、総合的な学習などで、自分の興味のある記事をスクラップすることで、自分なりの観点から新聞を見直すことができるような活動を多く行うようにしていきたい。